

第14期
第4回 鳥取市校区審議会

令和元年5月8日(水) 14:00
鳥取市役所 第2庁舎5階 第1会議室

1 開 会

2 委 嘱

3 新委員自己紹介

4 会長あいさつ

5 議事録署名委員の選任 委員、 委員

6 報 告

- (1) 第3回校区審議会審議概要について P 1
- (2) 校区審議に関連する活動報告について P 2
- (3) 江山地区義務教育学校の設置について P 3～5

7 議 事

- (1) 千代川以西エリアの学校のあり方について P 6～9
 - <参考資料> P 1～4
- (2) 本市の中長期的な校区のあり方について P 10
 - <参考資料> P 5～6
- (3) その他

8 その他

9 閉 会

鳥取市校区審議会委員（第14期）

任期：平成30年10月15日～令和2年10月14日

区分	氏名	所属、職業、住所等	5/8 出欠
学識経験者 (9名)	ほんな としまさ 本名 俊正	鳥取大学名誉教授	
	なんぶ さとし 南部 敏	鳥取市自治連合会（自治連合会会長）	欠
	たにぐち ひであき 谷口 英昭	鳥取市小学校校長会（明德小学校校長）	
	おん だ まさあき 音田 正顕	鳥取市中学校校長会（桜ヶ丘中学校校長）	
	うえた みつのり 上田 光徳	鳥取市小学校PTA連合会（美和小PTA会長）	
	よしざわ はるき 吉澤 春樹	鳥取市中学校PTA連合会（北中PTA会長）	
	かわぐち ゆみこ 川口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	欠
	やまだ やすこ 山田 康子	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク代表	
	ふくやま けい 福山 敬	鳥取大学工学部教授	
公募 (3名)	うしお りゅういちろう 牛尾 柳 一郎	無職（北園1丁目）	
	もりもと さゆり 森本 早由里	放課後児童支援員（河原町布袋）	
	たみや さちよ 民家 幸世	自営業（布勢）	

（順不同、敬称略）

事務局	なかむら たかひろ 中村 隆弘	教育委員会事務局次長(兼)教育総務課長(兼)校区審議室長
	たけた じゅん 竹田 潤	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主幹 (兼)学校教育課指導主事
	おおつぼ むねおみ 大坪 宗臣	教育委員会事務局教育総務課校区審議室主任

第14期 第3回 鳥取市校区審議会の審議概要について

- 1 日時 平成31年2月15日（金）14時00分～16時30分
- 2 会場 鳥取市役所 本庁舎 4階 第2会議室
- 3 出席者 本名会長、南部副会長、長谷川委員、中嶋委員、上田委員、吉澤委員
川口委員、山田委員、福山委員、牛尾委員、森本委員、民家委員
事務局：中村次長、石上主査兼指導主事、大坪主任

4 報告事項

- (1) 第2回校区審議会審議概要について
- (2) 校区審議に関連する活動報告について
- (3) 12月定例議会での質問と答弁について
- (4) 江山地区義務教育学校の設置について

5 議事

- (1) 千代川以西エリアの学校のあり方について

校区編成に関する意見把握のための自治体アンケートの取組例を参考にしながら、当該エリアの意見の把握方法について審議しました。

【主な意見】

- ・アンケート等を考えるのにあたり、何を明らかにし、その結果を受けて次の議論を進めるためにどのような情報が得たいのかということを考えていきたい。
- ・通学面での危険の回避方法を含め、具体的に地図なり校区割を何パターンか作った上で、そのことを問うような形にしてはどうか。
- ・自治体アンケートでは保護者の意向が確認できなかったもので、現在の保護者や就学前の子を持つ保護者から聞き取ってはどうか。
- ・基本的な校区のあり方を決めた上で、場合によっては、例外規定を設け、かつ全市に通用するルールのようなものが必要ではないか。
- ・一つの小学校から複数の中学校へ通学する形も、全国的には珍しくなく、そのような場合でも小中連携も行っている例があるので、検討してみるべきではないか。
- ・通学路の危険性を把握するという点では、小学校低学年の保護者や就学前の子を持つ保護者に尋ねるのがいいと思う。
- ・自治体アンケートの結果から、当面は現状維持とすべきで、20年先には千代川を境に分けるというような校区編成を決断する時が来ると思う。

【会長総括】

今回は、これまでの議論を踏まえて、校区審議会として考えられる案を議論し、それをもとにアンケートの内容や取り方、あるいはアンケートを取るか取らないかも含めて審議していきたい。

- (2) 本市の中長期的な校区のあり方について

およそ20年先の中長期的な校区のあり方を示した他の自治体の例を確認し、今回は、鳥取市としてのまちづくり面も考慮した校区のあり方について、基準や柱立てなど原案的なものを作成し、これをもとに検討していくこととしました。

校区審議に関連する活動報告

No	月 日	実施時間	場所	会議名	内容等
1	H31. 3. 12 (火)	19:00 ~ 21:00	江山人権福祉センター	江山地区義務教育学校設立準備委員会 (第5回教育環境整備部会)	校名案の選定、校名案の最終選考の方法について
2	H31. 3. 18 (月)	19:00 ~ 20:15	美和小学校	第6回江山地区義務教育学校設立準備委員会	小中一貫教育ビジョン、校名案の選定、制服検討組織について
3	H31. 4. 3 (水)	13:00 ~ 13:20	第一応接室	江山地区義務教育学校設立準備委員会市長へ校名候補報告	委員長、副委員長、美和小学校校長による市長への校名候補報告
4	H31. 4. 5 (金)	14:00 ~ 17:30	美和保育園、神戸小学校、美和小学校、江山中学校	江山中校区の保育園、各小・中学校との確認・協議	江山中校区の保育園長、各小・中学校長に義務教育学校づくりに関する今年度のスケジュール等について確認・協議
5	H31. 4. 11 (火)	19:00 ~ 20:40	気高町総合支所会議室	第2回気高地域の子ども未来を応援する連絡協議会	各地区での協議状況の説明、意見交換
6	H31. 4. 25 (木)	19:00 ~	美和小学校	第7回江山地区義務教育学校設立準備委員会	新委員委嘱、部会の再編、今後のスケジュールについて確認

年度	H30										H31(R1)										R2	
検討項目等	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
設立準備委員会	第1回 8/27 ○役員選出 ○部会決定 ○今後のスケジュール ○学校施設整備	第2回 9/25 ○今後のスケジュール ○めざす子ども像と小中一貫教育ビジョン ○学校施設整備	第3回 10/22 ○学校施設整備 ○広報誌の発行 ○設立準備委員会進捗報告会	第4回 11/21 ○めざす子ども像と特色ある教育 ○学校施設整備 ○広報誌の発行 ○設立準備委員会進捗報告会 ○校名について		第5回 1/16 ○ブロック制 ○校名募集 ○広報誌の発行 ○先進地視察		第6回 3/18 ○校名案最終選考 ○義務教育学校教育ビジョン ○広報誌の発行	第7回		第8回			第9回		第10回		第11回			第12回	
すごい！学校創造部会	第1回	第2回	第3回		第4回		第5回 2/6	H31からは、「すごい！学校創造部会」は解散し、小中学校・保育園が中心となって検討を行う。														義務教育学校開校・開校記念式(日)
小中一貫教育ビジョン	→						○義務教育学校教育ビジョン															
学校教育目標・めざす子ども像	→																					
ブロック制の検討	○今後のスケジュール ○めざす子ども像と小中一貫教育ビジョン	○めざす子ども像と小中一貫教育ビジョン ○ブロック制 ○生活時程	○めざす教育 ○ブロック制と生活時程	○ブロック制 ○3校の交流 ○義務教育学校教育ビジョン	→																	
校訓の検討	→																					
開校に向けての3校の交流について							検討	→										実施	→			
9年間のカリキュラム作成	→																					
江山ならではの特色ある教育	→																					
学校行事・異学年交流等	→																					
生活時程	→																					
教育環境整備部会	第1回 9/10	第2回 10/9	第3回	第4回		第5回 3/12		第6回	第7回	第8回	第9回	第10回										
施設・整備について(改修校舎・増築校舎)	検討		→																			
施設・整備について(仮設校舎)	検討		→																			
校名の策定	○今後のスケジュール ○めざす子ども像と小中一貫教育ビジョン ○学校施設整備	○学校施設整備 備案の作成(改修工事) (仮設校舎)	○学校施設整備 備案の作成 ○校名募集 ○進捗報告会	○校名募集 ○校名の選定方法	→																	
校章の策定	→																					
校歌の策定	→																					
教室配置の検討	→																					
情報教育環境整備	→																					
江山の宝応援部会	第1回 9/11	第2回	第3回 11/8	第4回		第5回 2/12		第6回	第7回	第8回	第9回	第10回										
地域住民・保護者へ情報提供	委員会だより、説明会、HP等						○広報誌 ○制服 ○学校応援組織	→														
学校応援団組織について	→																					
コミュニティスクールの導入	○今後のスケジュール ○めざす子ども像と小中一貫教育ビジョン ○通学方法	○広報誌(名称) (1号の検討) ○報告会の開催について ○通学方法	○広報誌 ○通学方法 ○進捗報告会	○広報誌 ○通学方法 ○制服	→																	
通学方法	→																					
PTA組織	→																					
閉校に向けての事業	→																					
学用品等の物品	→																					
制服	→																					
進捗報告会				第1回 12/10(美穂)12/12(大和)																		
先進地視察					三重県津市立みさとの丘学園視察1/25	亀岡市立亀岡川東学園視察2/6																

江山地区義務教育学校 **新学校名（案）の選定について**

令和2年4月の開校を目指している神戸小学校、美和小学校、江山中学校を統合した義務教育学校の校名案について、江山地区義務教育学校設立準備委員会より3案の報告を受け、鳥取市として4月3日に下記のとおり選定しましたのでお知らせします。今後、市議会6月定例会に上程し、議決を経て決定する予定です。

1 今回選定した学校名の案

「鳥取市立 こうざんがくえん 江山学園」

【選定理由】

「江山」という名前は、自然豊かなこの地域をととてもよく表しており、今の中学校の校名に込められた思いや慣れ親しんだ名称を引き継いでいきたいという地域の思いがつまっています。また、小学校と中学校が一体となって義務教育学校になることをシンプルに表した、誰もが呼びやすく親しみが持てる名前であるため、これを校名案としました。

2 選定経過

① 校名案の募集

期 間：平成31年2月1日～平成31年2月28日

対象者：江山地区在住の方、江山地区出身の方、または江山地区に「ゆかり」のある方

募集方法：持参、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法による

募集周知：応募用紙を江山地区全世帯に市報と同時に配布するとともに、江山地区各小中学校・保育園・公民館に設置、市公式ホームページに掲載

結 果：応募件数 240件 <参考>応募学校名の総数160点（重複を除く）

※地域別内訳

[江山地区223件、市内（江山地区除く）14件、県内（鳥取市除く）2件、県外1件]

※年代別内訳

[幼児4件、小学生105件、中学生85件、高校生1件、20代2件、30代9件、40代7件、50代6件、60代12件、70代5件、無記入4件]

② 校名案の選考

【第一次選考】

江山地区義務教育学校設立準備委員会 教育環境整備部会（3月12日）

* 応募のあった中から、9つの候補名称を選考。

【第二次選考】

江山地区義務教育学校設立準備委員会（3月18日）

* 一次選考の9候補の中から、3つの候補名称を選考。

【校名案選定】

江山地区義務教育学校設立準備委員会が上記3つの候補名称を市長に報告した後、「鳥取市立 江山学園」を校名案として選定。（4月3日）

3 当面のスケジュール(予定)

令和元年 6月 市議会に鳥取市立学校条例の一部改正案を提出

8月～11月 校章・校歌歌詞の募集、校歌作曲依頼

令和2年 2月 校章・校歌披露

4月 江山地区義務教育学校開校（現美和小学校の位置で開校）

【参考資料】

<これまでの経緯>

○平成25年1月

「第11期鳥取市校区審議会中間とりまとめ」で、江山中学校区全体で学校のあり方の検討が必要であるとされる。

○平成27年5月

自治会、まちづくり協議会、小学校教職員及び保護者などからなる「かんの教育を考える会」が設立される。

○平成28年7月

アンケート結果を踏まえた検討がなされ、「かんの教育を考える会」より、「近隣小中学校との小中一貫校又は近隣小学校との統合等、神戸の子どもたちの成長にとってより良い教育環境の早期整備を望む」要望書が、教育長に提出される。

○平成28年10月

神戸・美穂・大和地区の自治会及びまちづくり協議会、神戸小学校・美和小学校・江山中学校・美和保育園教職員及び保護者からなる「江山校区の学校のあり方を考える会」が設立される。

○平成29年9月

「江山校区の学校のあり方考える会」より、「神戸小・美和小・江山中での小中一貫校設立の検討を望む」要望書が、市長、教育長に提出される。

○平成30年5月

「江山中校区の学校のあり方」について、校区審議会より答申される。

【校区審議会答申の概要】

1. 神戸小学校及び美和小学校、並びに江山中学校3校による「小中一貫型小学校・中学校又は義務教育学校（以下「小中一貫教育校」という。）」を設置する。

【付記】

(1) 神戸小学校及び美和小学校、並びに江山中学校3校による小中一貫教育校を、現在の美和小学校の位置に校舎一体型として設置する。

(2) 小中一貫教育校の設置は、十分な準備の上、できるだけすみやかに実施する。

(3) 施設一体型の小中一貫教育校が設置されるまでの間、神戸小の児童と美和小の児童による積極的な交流学習を実施するなど、教育面での十分な配慮を行う。

(4) 「コミュニティ・スクール」の指定を行う。

(5) 「小規模校転入制度」を導入する。

(6) 教育情報環境の整備を進める。

(7) 子どもたちが安全に通学できるよう配慮する。

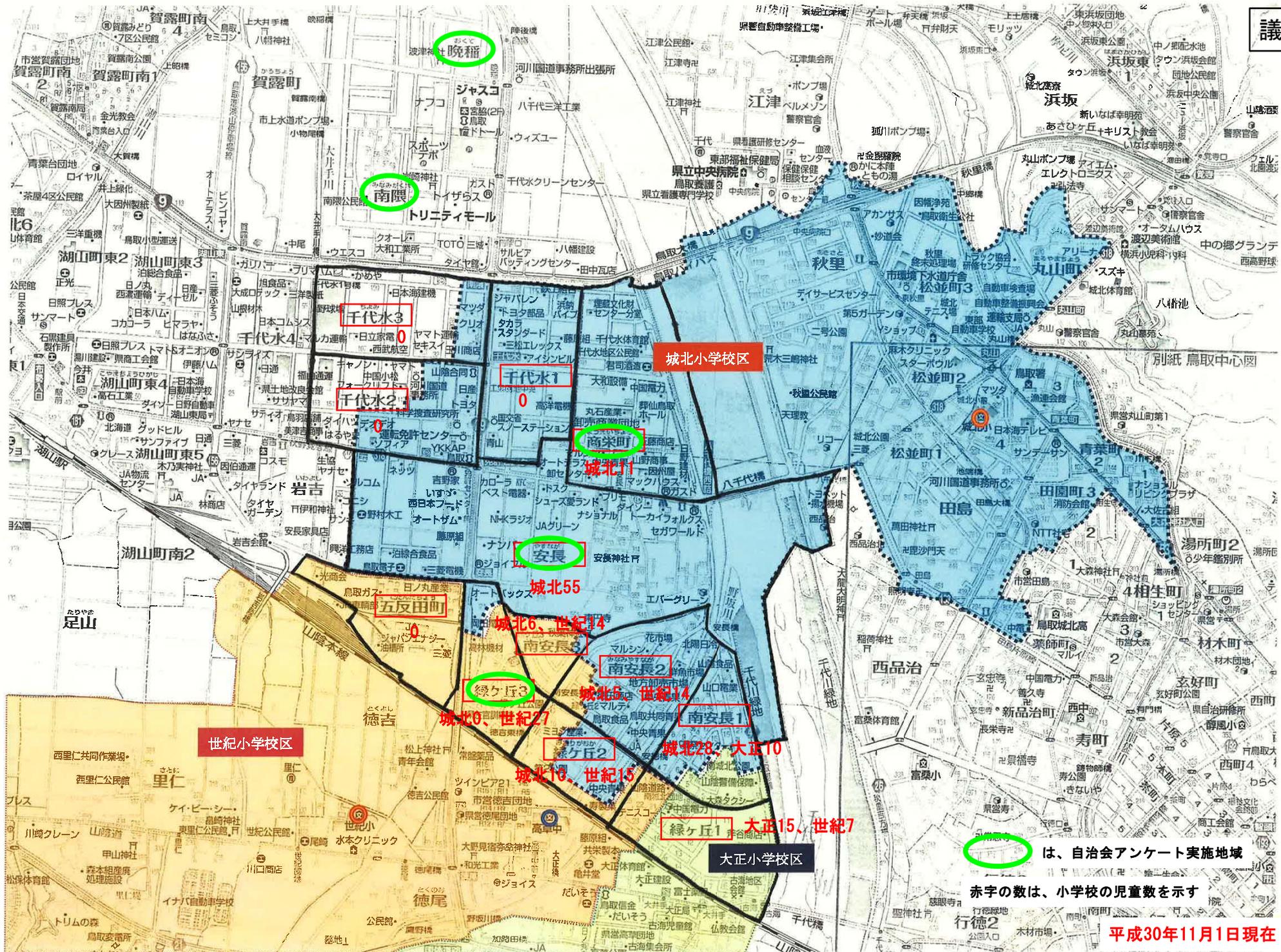
(8) 地域伝統文化や自然探求など地域ならではの学習に留意すること。振興にも寄与すること。

○平成30年6月

鳥取市教育委員会において、方針を決定し、「江山校区の学校のあり方考える会」への報告及び説明会を実施。

○平成30年8月

「江山地区義務教育学校設立準備委員会」が組織され、開校に向けた協議が開始される。



は、自治会アンケート実施地域

赤字の数は、小学校の児童数を示す

平成30年11月1日現在

千代川以西エリアに在住する城北小学校区の子どもの数

2018/12/20現在

	全体	安長	商栄町	南安長1	南安長2	南安長3	緑ヶ丘2	緑ヶ丘3	千代水1	千代水2
0歳	28	7	9	3	3	0	6	0	0	0
1歳	35	16	2	8	1	1	7	0	0	0
2歳	29	13	5	2	5	0	4	0	0	0
3歳	32	8	4	13	1	0	6	0	0	0
4歳	32	16	3	7	0	2	4	0	0	0
5歳	31	7	6	10	3	1	4	0	0	0
6歳	20	10	1	5	0	0	4	0	0	0
7歳	26	13	1	6	1	3	2	0	0	0
8歳	21	7	3	6	0	0	5	0	0	0
9歳	20	7	2	7	0	1	3	0	0	0
10歳	19	9	1	4	0	1	4	0	0	0
11歳	21	11	3	4	0	1	2	0	0	0
12歳	19	13	2	3	0	0	1	0	0	0
13歳	11	4	1	3	0	1	2	0	0	0
14歳	21	8	3	4	0	0	6	0	0	0
15歳	10	5	2	3	0	0	0	0	0	0
合計	375	154	48	88	14	11	60	0	0	0

千代川以西エリアの児童数(城北小学校区在住)

※城北小学校区:安長・商栄町・千代水1～2・南安長1～3・緑ヶ丘2～3

【年度・学年別児童数】

年度	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		全校		全校生徒数 増減率 (対比H30)
	児童数	学級数	生徒数	学級数											
30	26	1	21	1	20	1	19	1	21	1	19	1	126	6	
31	20	1	26	1	21	1	20	1	19	1	21	1	127	6	
32	31	2	20	1	26	1	21	1	20	1	19	1	137	7	
33	32	2	31	2	20	1	26	1	21	1	20	1	150	8	
34	32	2	32	2	31	1	20	1	26	1	21	1	162	8	
35	29	1	32	2	32	1	31	1	20	1	26	1	170	7	
36	35	2	29	1	32	1	32	1	31	1	20	1	179	7	

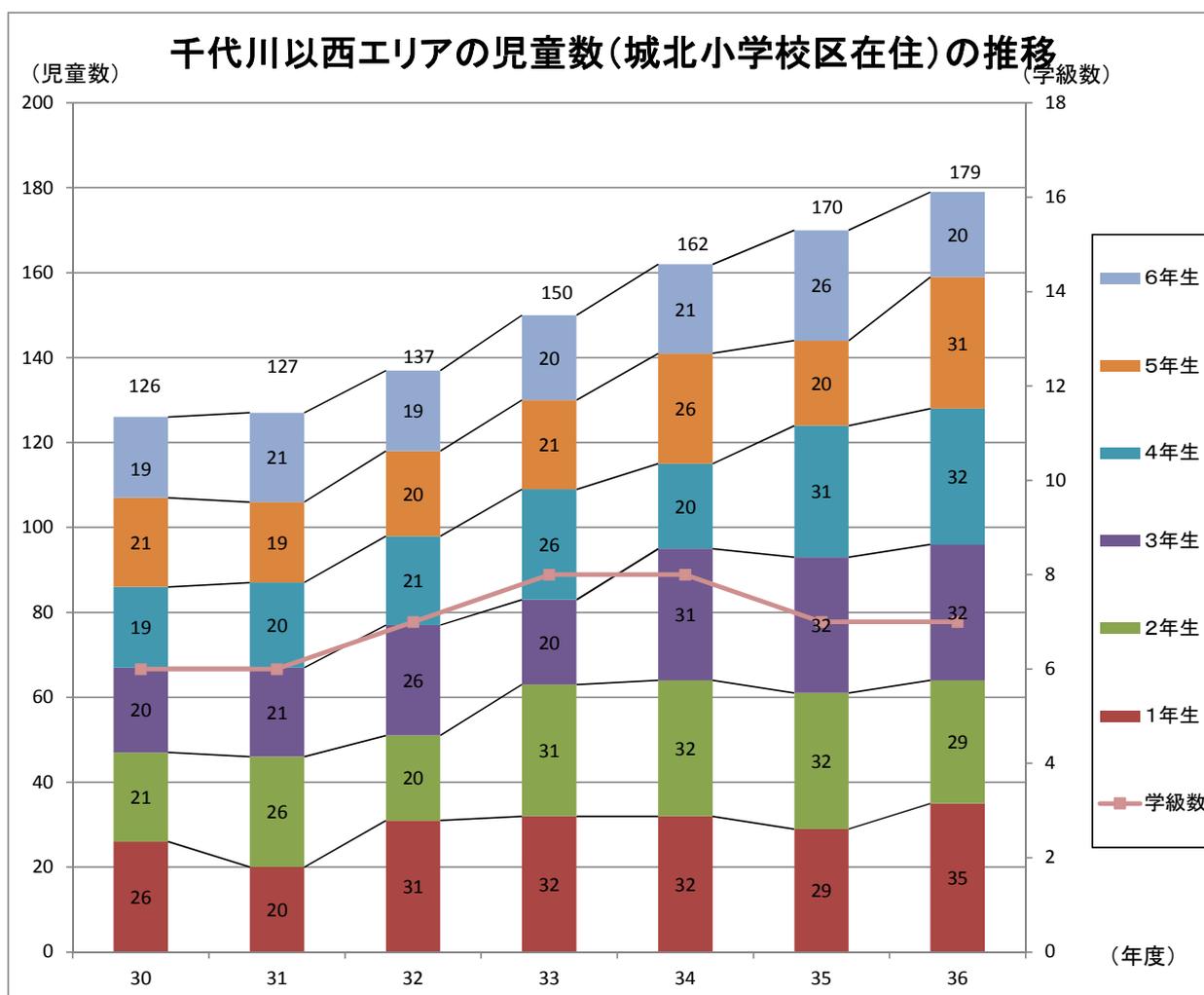
※H30.12.20現在に当該エリアに在住する子どもの数

※H31年度以降の1年生は、H30.12.20現在の該当地域出生児数

※H31年度以降の2～6年生は、前年度の各1学年下の児童数

※学級数は、鳥取県公立小・中・特別支援学校少人数学級編成基準により算出

(1・2年生:30人学級 3年生以上:35人学級)



千代川以西エリアの生徒数(北中学校区在住)

※北中学校区:安長・商栄町・千代水1~2・南安長1~3・緑ヶ丘2~3

【年度別生徒数】

年度	1年生		2年生		3年生		全 校		全校生徒数 増減率 (対比H30)
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
30	11	1	21	1	10	1	42	3	
31	19	1	11	1	21	1	51	3	
32	21	1	19	1	11	1	51	3	
33	19	1	21	1	19	1	59	3	
34	20	1	19	1	21	1	60	3	
35	21	1	20	1	19	1	60	3	
36	26	1	21	1	20	1	67	3	
37	20	1	26	1	21	1	67	3	
38	31	1	20	1	26	1	77	3	
39	32	1	31	1	20	1	83	3	
40	32	1	32	1	31	1	95	3	
41	29	1	32	1	32	1	93	3	
42	35	2	29	1	32	1	96	4	

※H30.12.20現在に当該エリアに在住する子どもの数

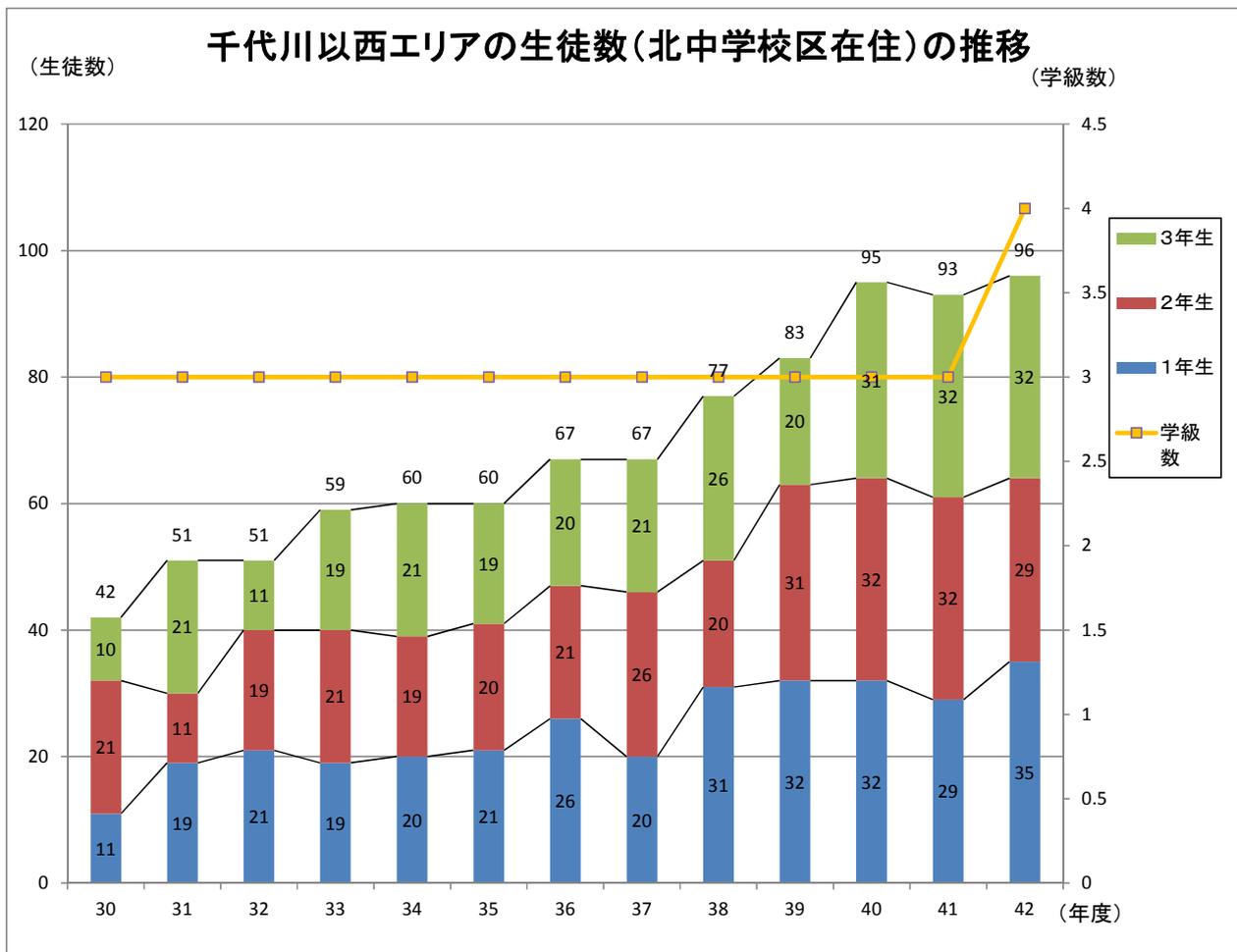
※H31年度以降6年間の1年生は、H30.12.20現在の該当小学校区各学年児童数

※H37年度以降の1年生は、H30.12.20現在の該当地域出生児数

※H31年度以降の2、3年生は、前年度の各1学年下の生徒数

※学級数は、現在の鳥取県公立小・中・特別支援学校少人数学級編成基準により算出

(1年:33人学級、2・3年:35人学級)



「鳥取市立学校の適正配置」について(答申)

～ 答申の概要(案) ～

1 はじめに

- 学校適正配置の背景・趣旨・目的
 - ・児童・生徒数減少による学校の小規模化
 - ・中長期的な観点から学校を適正配置する必要性

2 鳥取市立学校の現状と課題

- 鳥取市立小・中・義務教育学校の現状(課題面)
 - ・児童生徒数減少による小規模化
 - ・適正配置に関する課題、地理的条件による課題
- 将来の児童生徒数見込み

3 本市がこれからめざす教育・学校のあり方

4 適正規模・適正配置の基準

- 適正規模の基準と考え方
- 適正配置の基準と考え方
 - 通学距離・時間、地理的条件、自治会・公民館との関係)

5 学校適正配置の基本的な考え方

- 基本的に現在の学校の統合により適正規模・適正配置を進める
- 児童・生徒数予測をもとに、適正規模の学校を配置する
- エリアごとの学校数を決める。

6 エリアごとの学校数の目安